記者発表資料

令和６年１月１０日
庄内・社会基盤技術
フォーラム運営委員会

『第29回 庄内・社会基盤技術フォーラム』を開催します
～「産・学・官」共同の技術フォーラム～

庄内地方所在の「産・学・官」で組織する庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会では、庄内地方における土木・建築・環境技術の進歩及び技術者の資質向上を図るとともに、他地域への情報発信を目的に、「第２９回庄内・社会基盤技術フォーラム」を開催します。

【庄内・社会基盤技術フォーラムの概要】

〈日　時〉　令和6年1月17日（水）13:30～17:45（受付開始13:00～）

〈会　場〉　酒田市公益研修センター 〒998-8589酒田市飯森山三丁目5番地の1
（東北公益文科大学キャンパス内）

〈内　容〉 ○特別講演

「流域治水の取組みについて」

国土交通省 東北地方整備局 河川部

河川計画課長　諸橋　拓実　氏

「庄内平野の地震と地盤」

山形大学 農学部

准教授　張　海仲 氏

○事例・研究発表 20題（プログラムは別添）

【主　催】

庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会

委員長：渡邉　一哉　山形大学農学部 教授

構成員：山形大学農学部、東北公益文科大学、鶴岡工業高等専門学校、酒田光陵高等学校
鶴岡市、酒田市、国土交通省酒田河川国道事務所、国土交通省酒田港湾事務所
東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所、(一社)山形県建設業協会鶴岡支部、
(一社)酒田建設業協会、前田製管(株)、庄内生コンクリート協同組合
(株) 庄内測量設計舎

【その他】

○(社)土木学会の継続教育（ＣＰＤ）プログラムとしての認定を受け実施します。
発表者、受講者には(社)土木学会よりＣＰＤ単位証が交付されます。
※CPD：Continuing Professional Development→継続的な専門能力開発

問い合わせ先

庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会（事務局）

小池 禎一　0234-23-5110（前田ホールディングス(株)総務・人事グループ次長）
舘山 幸大　0234-27-3494（国土交通省酒田河川国道事務所調査課長）
木村 貴彦　0234-33-6313（国土交通省酒田港湾事務所工務課長）
小澤 隆二　0235-22-8772（東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所工務担当課長）

13:30 ～ 13:35	**開会挨拶**　渡邉　一哉　　庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員長		【多目的ホール】
13:35 ～ 14:35	**特別講演　「流域治水の取組みについて」** 諸橋　拓実（東北地方整備局　河川部　河川計画課長）		【多目的ホール】
14:40 ～ 15:10	**特別講演　「庄内平野の地震と地盤」** 張　海仲（山形大学　農学部　准教授）		【多目的ホール】
15:10 ～ 15:15	休　　憩		
※(15:13) 発表の進行・説明	**事例・研究発表（施工技術、環境、地域づくり）** **Ａ会場**【多目的ホール】 司会：岡本　守 （東北地方整備局　酒田河川国道事務所）	**Ｂ会場**【中研修室１】 司会：鮎貝　基和 （東北地方整備局 酒田港湾事務所）	**Ｃ会場**【中研修室２】 司会：渡邊　仁夫 （東日本高速道路(株)東北支社鶴岡管理事務所）
15:15 ～ 15:28	**A①_UAV空撮画像を用いた河道の環境情報抽出手法の検討** 石山　あい （山形大学　農学部）	設営準備	設営準備
15:28 ～ 15:41	**A②_酒田港北港船だまりを対象としたブルーインフラ実証実験** 福士　響 （酒田港湾事務所）	**B①_水環境の底泥における大腸菌の生存にどの環境因子が影響を与えるのか？** 伊藤　沙希那、小野　萌笑、小鷹　莉央、野口　愛菜、正木　咲衣 （鶴岡南高等学校）	**C①_若手技術職員育成プログラムの実施について** 原田　凌太 （酒田河川国道事務所）
15:41 ～ 15:54	**A③_橋梁点検における新技術の活用事例について** 小野寺　一真 （㈱庄内測量設計舎）	**B②_庄内地域で目指す流域治水について** 穂積　薫 （酒田河川国道事務所）	**C②_COVID-19パンデミックが下水の薬剤耐性モニタリングに与える影響** 遠藤　敬大 （山形大学　農学部）
15:54 ～ 16:07	**A④_海藻の生長促進を目的とした下水汚泥コンポスト溶出液の活用** 佐藤　岳哉 （山形大学　農学部）	**B③_住宅の太陽光発電・蓄電池設備導入の新支援制度について** 髙橋　秀幸 （酒田市）	**C③_戸沢立川道路における切土法面対策について** 横山　和宏 （酒田河川国道事務所）
16:07 ～ 16:20	**A⑤_建設業の若者就業促進事業の取組みについて** 櫻井　幸三 （山形県　庄内総合支庁）	**B④_環境DNA分析を用いたサケ科魚類の判別手法の開発** 佐藤　静歩 （山形大学　農学部）	**C④_鶴岡市中心部におけるTDM施策について** 羽田　裕毅 （酒田河川国道事務所）
16:20 ～ 16:33	**A⑥_「稼ぐ」下水道PRへのチャレンジ** 丸山　大輔 （鶴岡市）	**B⑤_興野地区防雪柵設置工事　工事報告** 小松　雅弥 （酒田河川国道事務所）	**C⑤_養殖牡蠣の海水からのノロウイルス蓄積とその浄化に関する研究** 久井　康汰 （山形大学　農学部）
16:33 ～ 16:43	休　　憩	講　評：藤原　弘道 （東北地方整備局　酒田港湾事務所）	講　評：横田　武 （東日本高速道路㈱　東北支社　鶴岡管理事務所）
16:43 ～ 16:56	**A⑦_庄内地方の野生動物が保有する薬剤耐性菌の動向調査** 高橋　亮太 （山形大学　農学部）		
16:56 ～ 17:09	**A⑧_下水処理水で育てた藻類の給餌による養殖アユの香りの変化** 鹿納　陽平 （山形大学　農学部）		
17:09 ～ 17:22	**A⑨_雪氷作業における凍結防止剤の小分け機（DDホッパー）導入効果** 佐々木　亨 （㈱ネクスコメンテナンス東北）		
17:22 ～ 17:35	**A⑩_下水道資源を施肥した農地土壌における大腸菌の薬剤耐性調査** 齋藤　静香 （山形大学大学院　農学研究科）		
17:35 ～ 17:45	講　評：鈴木　之 （東北地方整備局　酒田河川国道事務所）		

庄内・社会基盤技術フォーラムについて（概要）

【目　的】

庄内地域の土木技術者のレベルアップと連帯感を高めることを狙いとして、産・学・官の土木技術者有志が連携し、研修及び交流の場を提供することにより、地域の土木技術者が新しい技術動向をとらえ、更に他地域への情報発信を目指すことを支援し、地域の発展に貢献することを目的とし、平成11年に設立。

【当フォーラムの構成員】

■山形大学農学部、東北公益文科大学、
鶴岡工業高等専門学校、酒田光陵高等学校、
国土交通省　酒田河川国道事務所、
国土交通省　酒田港湾事務所、
鶴岡市、酒田市、
東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所、
(一社)山形県建設業協会鶴岡支部、
(一社)酒田建設業協会、
庄内生コンクリート協同組合、
(株)庄内測量設計舎、前田製管(株)

【活動内容】

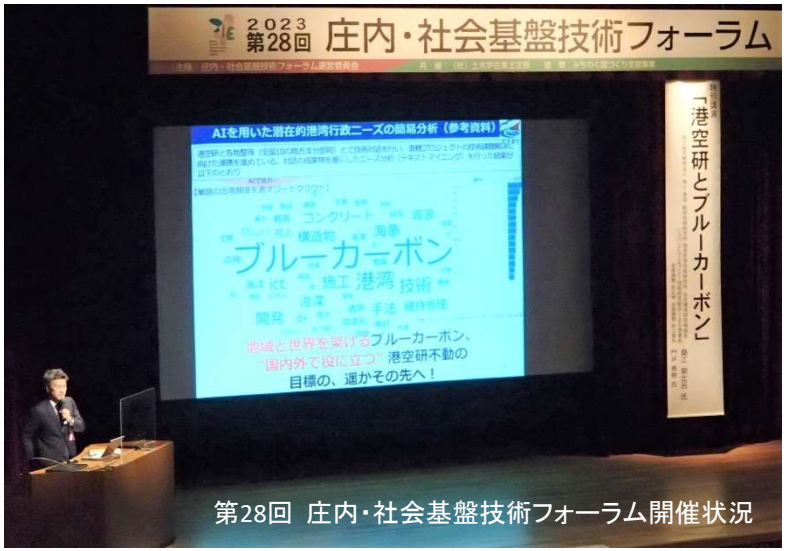
年1回、庄内・社会基盤技術フォーラムを開催

令和５年度(第２９回)の開催概要

■日時：令和6年1月17日（水）13:30～17:45
■場所：酒田市公益研修センター
■内容：●特別講演　　２題（13:35～15:10）
「流域治水の取組みについて」
国土交通省 東北地方整備局 河川部
河川計画課長　諸橋　拓実　氏
「庄内平野の地震と地盤」
山形大学 農学部
准教授　張　海仲 氏

●事例・研究発表　２０題　（15:15～17:45）

令和４年度(第２８回)の開催状況



第28回 庄内・社会基盤技術フォーラム開催状況